

## 第15回青森県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 意見総括

9月13日(火)に開催した第15回青森県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議において、

1点目として、県内の感染状況は大幅に改善しているが、今後、季節性インフルエンザによる発熱者増加も考慮した準備が必要であるとした県の感染状況の評価は妥当であること

2点目として、発生届対象者の限定にあわせて、県内の医療資源を高齢者等の重症化リスクが高い方に、より重点化できる体制を確保するという県の方針は妥当であること(発生届対象者以外の方で支援を希望する方には、宿泊療養、配食等を継続していくこと、継続にあたって、当面の間、青森県臨時Webキット検査センター、青森県自宅療養者サポートセンターを運用していくことなど)

3点目として、レベル分類の各指標に必ずしも縛られず、発熱者数の状況に応じて柔軟にレベル分類を運用していく県の考えは妥当であること

との結論にいたった。

なお、会議における主な御意見としては、

- 青森県臨時Webキット検査センター、青森県自宅療養者サポートセンターは、県内の医療機関の負担軽減に大きく寄与しており、今後も当面の間、継続していく必要がある。
- 今後のWithコロナに備えて、季節性インフルエンザを考慮した診療・検査体制を整備する必要がある。
- 今回示された発生届対象者の限定後の仕組みは、高く評価でき

るので、今後は県民に対して十分に周知していく必要がある。

県としては、これらの御助言を今後の保健医療提供体制の確保等に役立てていくこととした。